

平成 30 年度大北地域森林づくり県民税活用事業計画

平成 30 年 7 月末日

本年度から始まった第 3 期森林づくり県民税の活用事業は、下記のとおり 6 つの大区分と 23 の事業で進められます。

(新規事業は「新」、一部新規事業は「一新」、継続事業は「継」と表記)

平成 30 年度の大北地域における活用事業については、現在、要望照会中の事業が含まれることから、全ての計画を示せない状況ですが、現段階における本年度の事業計画は次のとおりです。

1 「防災・減災」及び「住民等による利活用」のための里山等の整備

防災・減災のための里山等の整備

1 「一新」 みんなで支える里山整備事業

「防災・減災」の観点から、未整備の里山のうち、科学的知見等を活用して優先的に整備が必要な箇所の間伐を推進します。

- ・事業主体 市町村、森林組合、NPO 法人、森林所有者の団体等
- ・補助率 9/10
- ・里山整備面積 1,290ha (県全体)

H30 計画 (要望額)

単位: ha 千円

市町村	間伐面積 ha	事業費	補助金額	備考
現在、林業事業者等に要望照会中				

2 「新」 里山整備方針作成事業

森林づくり県民税を活用した「防災・減災」及び「住民等の利活用」のための里山の整備を進めるため、航空レーザ測量の成果等を活用して危険性が高い箇所を絞り込み、優先整備箇所の特定、図面化をすることで、森林づくり県民税の効果的な活用と取組の見える化を図ります。

- ・事業主体 市町村、森林整備協議会等
- ・補助率 10/10
- ・里山整備方針作成数 120 地域 (2022 年度まで) (県全体)

H30 計画 (要望額)

単位: 千円

市町村	事業主体	事業費	補助金額	備考
要望なし (市町村が独自に「里山整備方針」を作成中)				

3 **新** 県単河畔林整備事業【建設部（河川課）所管】

県が管理する一級河川の区域外（民地）の河畔林、市町村が管理する準用河川区域とその周辺の河畔林のうち、防災効果が高い箇所を整備を推進します。

- ・事業主体 県、市町村
- ・補助率 9/10
- ・県管理河川の整備箇所 9箇所（県全体）
- ・市町村管理河川の整備箇所 15箇所（県全体）

H30 計画（要望額）

事業主体	事業箇所	事業費	補助金額	備考
長野県 (大町建設事務所)	金熊川 (河畔林整備)	1,500	—	県営事業

県民協働による里山の整備・利用

1 **一新** みんなで支える里山整備事業

長野県ふるさとの森林づくり条例に基づく「里山整備利用地域」において、住民協働による里山の整備を促進するとともに、多面的な森林資源の利活用を進めることで、自立的・持続的な森林管理の構築を図ります。

- ・事業主体 市町村、森林組合、NPO 法人、森林所有者の団体等
- ・補助率 9/10
- ・里山整備利用地域の認定 150 地域（2022 年度まで）（県全体）
- ・里山整備面積 150ha（県全体）

H30 計画

単位：ha、円

市町村	整備面積	事業費	補助金額	備考
里山整備利用地域の認定に向けて、里山整備に意欲のある地域・団体等に事業の説明等を行っています。（池田町、白馬村各1地区で具体的な要望があります。）				

2 **新** 里山整備利用地域活動推進事業

地域住民による里山の整備・利活用を促進するため、「里山整備利用地域」の認定地域において、地域住民による里山整備利用推進協議会の立ち上げ及び里山整備利用地域活動計画の作成等を支援します。

- ・事業主体 里山整備利用推進協議会
- ・補助率 10/10
- ・里山整備利用地域の認定数 50 地域（県全体）

同上

3 **新** 里山資源利活用推進事業

里山の資源を有効に活用し地域に還元する仕組みづくりを進めるため、自立的・持続的な管理体制の構築に必要な資材の導入等を支援します。

- ・事業主体 里山整備利用推進協議会
- ・補助率 3/4
- ・里山整備利用地域の認定数 50 地域（県全体）

同上

里山の森林整備の推進

【継】 地域で進める里山集約化事業

小規模な個人有林や不在村者所有森林等が多い里山の森林整備を推進するため、間伐事業実施地の森林所有者の合意形成や、所有者の境界を明確化する取組を支援します。

- ・事業主体 自治会組織、林業事業体等
- ・補助率 定額
- ・集約化面積 900ha（県全体）

H30 計画（要望額）

単位：ha 千円

市町村	事業主体	集約化面積	交付金額	備考
現在、林業事業体等に要望照会中				

2 自立的・持続的な森林管理のための間伐材等の利活用

新 地消地産による木の香る暮らしづくり事業

県産材に囲まれた地域づくりや未来における県産材利用者づくりを推進するため、観光地等における県産材公共サインの作成や児童センター等の「子どもの居場所」の木造・木質化など、長野県独自の県産材利用の取組を実施します。

県産材公共サインについては、観光地の魅力向上や県産材の活用促進の観点から統一デザインや仕様、配置場所の基本的な考え方を「基本コンセプト」として策定します。

- ・事業主体 県、市町村、公共的団体等
- ・補助率 1/2、3/4
- ・県産材公共サインの作成
- ・子どもの居場所木造・木質化等 5箇所
- ・木の調度品、おもちゃ等の設置 30箇所
- ・木工コンクール応募者数 5,500人/年（2022年度まで）

H30 計画

単位：千円

事業主体	内容	事業費	補助金額	補助率
小谷小学校	○木工体験活動支援事業 地域材による小学校6年生 の木製オルゴールづくり	107	80	3/4
計		107	80	

新 薪によるエネルギーの地消地産推進事業

里山の自立的・持続的な維持管理を図るため、身近な里山資源である「薪」を継続的に利用する仕組みを構築します。

- ・事業主体 県、市町村、公共的団体等
- ・補助率 3/4
- ・薪流通の仕組み構築モデル 3件（県全体）

H30 計画

単位：千円

事業主体	内容	事業費	補助金額	補助率
大北森林組合	豊富にある地域の広葉樹 を薪として利用	684	513	3/4
計		684	513	

新 松くい虫被害木利活用事業

山林に放置され、有効活用されていない松くい虫被害木を有効活用し、地域が主体となって行う松くい虫被害木駆除の更なる取組を推進するため、松くい虫被害木を木質バイオマス発電の燃料（チップ）に資源化して利活用する取組等を支援します。

- ・事業主体 市町村
- ・補助率 9/10
- ・取組を行う市町村数 10市町村（県全体）

北アルプス管内では、平成31年度以降に被害市町村（大町市・池田町・松川村）で一斉実施を計画しています。

3 森林づくりに関わる人材の育成

新 里山整備利用地域リーダー育成事業

持続的に地域の森林を適正に管理していく体制を構築するため、里山を管理・利用する地域活動のコーディネートや技術指導等を行う人材、地域の里山を維持管理する人材を育成します。

- ・事業主体：県
- ・育成する地域リーダーの人数 30人
- ・育成する里山維持管理人材の人数 900人

里山整備利用地域の認定に向けて、里山整備に意欲のある地域・団体等に事業の説明等を行っています。

新 森林セラピー推進支援事業（人材育成等）

森林セラピーガイドの育成等を通じて、本県の森林セラピーの利用を促進するとともに、関連する産業（観光、健康、環境、産業）との連携を強化し、地域資源として積極的に活用していくため、セラピー基地等の魅力向上を図るとともに、利用者の増加、満足度の向上を図ります。

- ・事業主体 県
- ・森林セラピーガイド育成 200人（2022年度）
- ・コーディネーター育成 10人以上

森林セラピー基地小谷の関係者を対象とする研修会等を開催予定です。

4 多様な県民ニーズに応えるための森林の利活用

森林の教育利用の推進

1 新 学校林等利活用促進事業

周囲を森林に囲まれた長野県で学ぶ児童・生徒が、森林・林業に親しみを感じ、次世代の森林づくりに理解を深めるとともに、学校林の活用を推進するため、手入れが放置され利用困難になっている学校林について、森林税により集中的に整備します。

- ・事業主体 県、市町村等
- ・補助率 9/10
- ・学校林の整備校数 16校（県全体）

本庁（信州の木活用課）が、県教育委員会等と調整・実施校の選定を行っています。

2 新 信州やまほいく認定団体保育環境等向上事業

【県民文化部（次世代サポート課）所管】

豊かな森林資源や自然環境を活用した「信州やまほいく」の認定園の活動フィールドの整備等を行うことで森林を活用した保育の安全性確保及び教育環境の充実を図ります。

- ・事業主体 「信州やまほいく」認定園の設置主体
- ・補助率 9/10、1/2
- ・フィールド整備等の認定園数 8園（県全体）

本庁（次世代サポート課）から、県内全ての認定事業者（156園）に整備要望を照会中です。（管内3園）

新 まちなかの緑地整備事業【建設部（都市・まちづくり課）所管】

市街地における木々に親しめる緑地の整備を集中的に推進するため、市町村及び民間団体が行う緑地の整備に対して補助します。また、整備された緑地での地域住民等による緑育・緑化活動につなげます。

- ・事業主体 市町村、民間団体
- ・補助率 1/2、1/3
- ・市街地の緑化整備 4箇所（県全体）

管内では本年度の要望はありません。

観光地における景観形成のための森林等の整備

1 新 観光地の景観整備（県単道路橋梁維持修繕費）【建設部（道路管理課）所管】

山岳高原リゾートを形成する観光地周辺等の街路において、景観形成のための街路樹の整備を実施します。また、この事業による街路樹剪定の実施は、「街路樹剪定士」資格保有者による作業とし、資格取得者の拡大を促すとともに、モデル事業として剪定技術に関する講習会など街路樹管理技術向上の醸成を図ります。

- ・事業主体 県
- ・街路樹の整備 6箇所（県全体）

管内では本年度の要望はありません。

2 **新** 観光地等魅力向上森林景観整備事業

豊かな森林資源を活かした観光地の魅力向上を図るため、地域の景観に合致した森林整備等を推進し、観光地等の魅力向上を図ります。

- ・事業主体 市町村
- ・補助率 9/10
- ・地域の景観に合致した間伐等実施箇所数 10箇所（県全体）

H30 計画

単位：千円

市町村	内容	事業費	補助金額	備考
大町市	鷹狩山山頂の眺望等確保のための森林整備（支障木伐採及びチップ化） 0.4ha	980	882	

新 森林セラピー推進支援事業（施設整備支援）

森林セラピーガイドの育成等を通じて、本県の森林セラピーの利用を促進するとともに、関連する産業（観光、健康、環境、産業）との連携を強化し、地域資源として積極的に活用していくため、セラピー基地等の魅力向上を図るとともに、利用者の増加、満足度の向上を図ります。

- ・事業主体 市町村
- ・補助率 9/10（森林整備）、1/2（施設整備）
- ・森林セラピー基地整備 4箇所（県全体）

H30 計画

単位：千円

事業主体	内容	事業費	補助金額	備考
小谷村	森林セラピー基地小谷（森林保全整備 4ha、案内石柱設置 55 本、チップロード整備 2,000m）	4,903	2,400	
計		4,903	2,400	

5 市町村に対する財政調整的視点での支援

継 森林づくり推進支援金

森林づくり指針に掲げる方針を踏まえつつ、森林に関する様々な課題解決のための市町村の取組を支援します。

- ・事業主体 市町村
- ・地域固有の課題解決に取り組む市町村 77市町村（県内全市町村）

平成30年度計画

単位：円

事業項目	市町村数	事業費	支援金額	備考
みんなの暮らしを守る森林づくり	4	2,336,000	1,690,000	補助率：10/10以内
木を活かした力強い産業づくり	1	928,000	900,000	
森林を支える豊かな地域づくり	4	3,502,000	2,146,000	
計	5	6,766,000	4,736,000	

○市町村別の計画内容と支援金額

単位：円

支援区分	市町村	計画内容	事業費	支援金額
みんなの暮らしを守る森林づくり	大町市	神社や墓地等の国庫補助事業の対象とならない松くい虫被害木の伐倒駆除(特殊伐採) 事業量9本	900,000	754,000
	池田町	神社、墓地、庭木等の松を松くい虫被害から守るための伐倒駆除や、所有者等が行う予防対策に必要な薬剤購入費への助成 45件 補助率1/2	1,000,000	500,000
	松川村	アカマツの枯損木を早期発見するための松林監視員の設置 1名	216,000	216,000
	白馬村	ナラ枯れ被害の拡大防止のための伐倒駆除 4本	220,000	220,000
	4市町村	小計	2,336,000	1,690,000
木を活かした力強い産業づくり	大町市	県産材を使用した木のおもちや(積木)を、1歳6ヶ月検診を受ける幼児にプレゼント 200人	928,000	900,000
	1市	小計	928,000	900,000
森林を支える豊かな地域づくり	池田町	緩衝帯整備 鵜山地区 1.5ha	1,004,000	247,000
	松川村	松川村山の日植樹祭の予定地の地拵え及び遊歩道整備 馬羅尾高原 0.50ha	670,000	390,000
	白馬村	緩衝帯整備 塩島地区 1.56ha	620,000	599,000
	小谷村	緩衝帯整備 梅池ウツチチップロード 4.2ha コルチチップロード 4.4ha	1,208,000	910,000
	4町村	小計	3,502,000	2,146,000
計			6,766,000	4,736,000

【再掲】市町村毎の平成 30 年度計画

(単位：円)

市町村	支援区分	計画内容	支援金額
大町市	みんなの暮らしを守る森林づくり	国庫補助事業の対象とならない松くい虫被害木の伐倒駆除	754,000
	木を活かした力強い産業づくり	県産材を使用した木のおもちゃのプレゼント	900,000
	計		1,654,000
池田町	みんなの暮らしを守る森林づくり	松くい虫被害木処理や予防対策の薬剤購入費補助	500,000
	森林を支える豊かな地域づくり	緩衝帯整備	247,000
	計		747,000
松川村	みんなの暮らしを守る森林づくり	アカマツ枯損木を早期発見するための松林監視員の設置	216,000
	森林を支える豊かな地域づくり	松川村山の日植樹祭実施地地拵え	390,000
	計		606,000
白馬村	みんなの暮らしを守る森林づくり	ナラ枯れ被害の拡大防止のための伐倒駆除	220,000
	森林を支える豊かな地域づくり	緩衝帯整備	599,000
			819,000
小谷村	森林を支える豊かな地域づくり	緩衝帯整備	910,000
	計		910,000
計 5市町村			4,736,000

6 森林づくりの理解を深める普及啓発及び森林税の評価・検証

1 継 みんなで支える森林づくり推進事業

森林の役割や森林づくりの重要性等について、県民の理解を深め、多様な主体による森林づくりを促進するため広報・普及啓発活動を実施します。また、県民会議、地域会議による税活用事業の評価・検証を行います。

- ・事業主体 県
- ・森林税の使途の認知度の向上 30%（県全体）

2 継 森林（もり）の里親促進事業

里山や山村集落へ県が仲立ちとなり企業等の社会貢献活動や福利厚生活動を誘導し、森林整備と交流を通じた地域活性化を図ります。

- ・事業主体 県
- ・企業等との契約件数 5件（県全体）

平成30年7月末現在、管内で3件の「森林の里親契約」が締結され、活動中です。今後も、企業と市町村や地域との仲介役として新たな契約の締結に向け取り組んでいきます。

森林の里親契約の状況

市町村	契約				支援金	活動内容
	里親(企業)	里子(地元)	契約日	期間		
池田町	住友理工(株)	池田町(広津自治会)	更新②H29.9.22 更新①H24.8.10 当初 H20.7.1	5か年	80万円/年	大峰高原の民有林で年3回活動(森林整備・木工教室等)
	(株)相互	池田町(広津自治会)	更新②H30.2.23 更新①H24.10.26 当初 H22.6.6	5か年	30万円/年	大峰高原近隣の民有林で年2回活動(森林整備)
白馬村	長野トヨペット(株)	白馬村(白馬岩岳観光協会)	更新③H30.4.1 更新②H27.4.1 更新①H24.4.1 当初 H21.12.22	3か年	約7万円/年	岩岳地域の民有林で年1回活動(緩衝帯整備)

【参考：契約満了】

松川村	尙つばくろ電機	松川村	H20年度終了(交流は継続)	—	—	—
	東京アート(株)	松川村	28年度終了	—	—	—

3 継 地球温暖化防止木材利用普及啓発事業

県産材住宅や事務所・店舗を木質化した企業等に対し、木材のCO₂固定量を認証し、地球温暖化防止や環境への関心を高めるとともに、県産材の消費拡大を図ります。

- ・事業主体 県
- ・CO₂固定認証量 500 t-CO₂

4 継 地球温暖化防止吸収源対策推進事業

企業等との連携により整備された森林のCO₂吸収量を認証し、企業等のCSR活動の「見える化」をすることで、地球温暖化防止につながる森林整備を推進します。

- ・事業主体 県
- ・CO₂吸収認証量 4,000 t-CO₂